

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第119回本部会議 記録

日 時／令和4年7月29日（金）
17：00～：17：30
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第119回本部会議を開催します。
なお本日は、本部長は欠席となっておりますが、報告内容等についてはあらかじめ本部長とも共有していることを申し添えます。
まず道内の感染状況などについて新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【佐賀井新型コロナウイルス感染症対策監】

それでは資料1をご覧くださいと思います。まずスライドの1でございます。主な指標の状況について、昨日、7月28日時点ですが、人口10万対の新規感染者数は、札幌市704.9人、札幌市を除く地域で525.6人、全道で592.9人と、いずれの地域でも過去最多を更新しております。先週今週比もいずれの地域でも2を超えるなど、急速な増加が継続している状況でございます。療養者数も同様の傾向でございます。また、病床使用率ですが、札幌市33.3%、札幌市を除く地域は19.8%、全道24.2%といずれの地域も増加傾向が継続しております。

続いてスライド2です。各圏域の状況を見ますと、新規感染者数は多くの圏域で過去最多を更新しており、先週比が2を超えるなど、急拡大の傾向が続いております。また療養者数は全ての圏域で過去最多を更新しております。病床使用率ですが、十勝圏など先週に比べ大きく増加している地域や、釧路・根室圏など、先週比で微増の地域があるなど、各圏域でその増加幅は違いがありますが、全ての圏域で増加傾向が続いております。

続いてスライド3、総評です。新規感染者数が連続で過去最多を更新し、病床使用率も大きく増加する中で、本道は他の都道府県と比較するといずれも低い状況にあります。国の専門家は、全国的にこれまでで最も高い感染レベルを更新し続け、今後、過去最多を更新することも予測されるという指摘をしております。

医療提供体制です。療養者数や病床使用率は増加傾向となっている中、重症病床使用率は低い水準で推移しています。

感染状況です。新規感染者は、先週比が2倍を超える日が続いており、年代別では引き続き30代以下の割合が約6割、特に20代の感染者が増加し、割合も増加している状況です。

オミクロン株の派生株ですが、札幌市で新たにBA.5系統が23件、札幌市を除く地域で17件検出されておりました。これまででBA.5系統71件を含みます計80件検出されております。

国の専門家は流行の主流がBA.2系統からBA.5系統に置き換わったと推定されると指摘しております。

続いてスライド4、総評2です。全道の新規感染者数が過去最多を更新する中、国の専門家の指摘を踏まえ、今後も感染拡大傾向の継続が見込まれます。社会経済活動の維持のため、これまで整備してきた保健・医療提供体制を十分に機能させながら、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方を感染から守ることに重点を置き、取組を進めてまいります。

濃厚接触者の待機期間短縮についてですが、7月22日に国から通知があり、これを踏まえ、道では国と同様の取扱いとすることとして、速やかに保健所や関係機関に通知しております。

また、入院患者の増加に対応するため、8月1日から即応病床のフェーズを2に引き上げます。

道内の保健・医療提供体制ですが、現時点でひっ迫の状況にはないものの、感染が拡大している中、発熱外来の負担が増加しているほか、医療機関では集団感染が発生しております。

また、保健所の業務負担の増加により、健康観察業務の民間委託を大幅に拡大し、現在、23保健所で実施しており、今後、早期に全26の道立保健所での委託を進めてまいります。

医療の負荷に直結する重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、またそうした方々と会う方の双方が基本的な感染防止行動である「3つの行動」を徹底するよう働きかけてまいります。また、高齢者等に会う際には、検査で陰性確認を行うよう呼びかけてまいります。

続いてスライド5、総評3です。高齢者施設等での感染拡大を防ぐため、地域の感染拡大の状況に応じまして、職員に対する頻回検査実施の調整を進めます。

道民の皆様には「3つの行動」の実践を引き続き呼びかけますとともに、特に夏休みシーズンに注意が必要な場面などでの実践をわかりやすく呼びかけてまいります。

誰もが感染する可能性が高まる中、万が一の感染に備え、準備すべき解熱剤や必要な生活物資などを家族で話し合うなど、あらかじめ用意するよう呼びかけてまいります。また、道では、自宅療養の方への療養セットの早期配送に引き続き努めてまいります。

重症化リスクの高い高齢者などの4回目接種、若年層の3回目接種の積極的な検討に向け、道の接種センターの活用や、多様な媒体を活用した広報展開による呼びかけを進めてまいります。4回目接種は、7月22日に医療従事者等に対象が拡大され、道のセンターでも7月30日から実施することとして、既に7月28日から予約受付を開始しております。また、市町村での速やかな接種開始に向けまして、必要なワクチンの配分調整や接種券の発行手続き等の情報提供など、積極的な支援に努めてまいります。

ノババックスワクチンですが、新たに札幌市が8月から接種を開始いたします。引き続き、より多くの市町村で接種できるよう調整を進めてまいります。

また、7月22日から対象者が12歳以上に拡大され、道のセンターでも次回の予約受付を行う8月21日分から実施し、8月2日に予約受付を開始いたします。

スライド6をご覧くださいと思います。保健・医療提供体制確保の取組です。全国的に感染が急拡大する中、これまでの経験を超える事態となった場合でも対応できるよう、保健・医療提供体制の見直しを行い、その状況を取りまとめたものでございます。

まず、検査についてですが、検査需要の増加への対応のため、診療報酬上の特例措置の延長を周知の上、診療・検査医療機関の拡充に向けて働きかけます。また、無料検査事業では、検査キットの早期発注について通知をしてきたところとございまして、現時点での不足は生じていない状況にあります。

続いて外来などについてですが、道の健康相談センターの人員や回線を増強し、対応力を強化しますとともに、発熱外来の負担軽減のため、重症化リスクの低い有症状の方へ受診に代えて、検査キットを配布する体制の検討を進めているところです。

次に自宅療養ですが、健康観察に必要なパルスオキシメーターの十分な確保、また迅速

な配布のため、民間委託により対応を進めているほか、オミクロン株の特性を踏まえて療養セットの内容量の見直しなども実施しております。また、必要な方に速やかに療養セットを届けられますよう、効率的な配送手法などについても調整を進めてまいります。

続いてスライド7、取組2になります。宿泊療養ですが、療養者の更なる増加に備えまして、療養体制や施設運営に支障が生じぬよう、現施設の契約期間を延長するなど、調整を進めてまいります。

続いて、入院ですが、今後の感染急拡大に伴い、更なる入院患者の増加に備え、8月1日から即応病床のフェーズを2に引き上げます。また、今後の病床使用率の増加も見据え、必要病床の確保や体制整備について関係機関と協議を進めるほか、医療機関の集団感染などで医療従事者の感染者等が増加しているため、適時状況の把握に努めてまいります。

保健所業務ですが、健康観察業務の委託を大幅に拡充し、23保健所で実施中でございまして、早期に全26保健所での実施を目指します。また、会計年度任用職員の確保や振興局の応援体制の整備を進めており、今後の感染拡大も見据え、体制の拡充に取り組んでまいります。

ワクチンですが、国は7月、8月を「ワクチン推進強化月間」として、広報活動を強化しております。道でも接種促進に向けた広報展開や市町村支援に努めてまいります。

最後に、社会経済活動の維持に向けまして、第三者認証等の飲食店や観光事業者に対する感染防止対策の徹底について依頼をしているところでございます。

続いてスライド8以降について、何点か主要な動向などを補足説明いたします。

少しスライドを飛ばしましてスライド26をご覧くださいと思います。

年代別の感染者割合ですが、全ての年代で増加が見られておりまして、特に20代から50代までの増加幅が大きくなっております。これまでと同様ですが30代以下の占める割合が最も高い状況ですけれども、足下では、40代から50代の割合が増加している一方で、30代の割合は65%から60%に若干減少しております。なお、60代以上にも増加がみられるもののその他の年代の増加幅が大きいのでその割合は微増の状況に見えております。

続いてスライド27をご覧くださいと思います。集団感染の発生状況ですが、感染が急速に拡大している中、札幌市、札幌市を除く地域とも、足下では集団感染の発生件数、感染者数ともに大幅に増加している状況にございます。

スライド28をご覧くださいと思います。上段の左側の表になりますワクチンの3回目接種ですが、7月27日現在、VRSベースで約340万3,000人。接種率は65.1%。このうち65歳以上の方ですが、約150万5,000人。接種率は90.2%。また右側の表になります4回目接種の状況ですが、これまで約37万4,000人が接種し、このうち60歳以上の方は約36万2,000人。接種率は18.0%。下段の小児の接種率ですが、いまだ高い状況にはないものの1回目が20.5%、2回目が19.0%と、全国を上回る状況が継続している状態です。

スライドの29をご覧くださいと思います。全道の3回目接種の年代別の状況ですが、65歳以上は高い水準にございますけれども、10代は34.0%にとどまっている状況です。また、20代、30代では、全国の接種率を上回りまして、50%前後となっておりますが、依然、他の年代よりは低いことや、感染の急拡大が続いておりますので、こうした年代の接種の更なる加速化に向け、市町村の取組を積極的に支援してまいります。

続いてスライド31をご覧くださいと思います。丸の一つ目です。人の移動や世代間交流が活発となります夏休みなどに向けまして、接種率向上の取組として丸の二つ目ですけれども、知事のメッセージ動画を街頭ビジョンなどで配信するほか、SNSのWeb広告なども

実施しております。また、丸の三つ目になりますが、感染急拡大を踏まえまして、高齢者はもとより、これまで3回目接種を受けていない方々への情報提供や、接種希望者への対応など、道の接種センターも活用しながら、市町村と連携し取組を進めてまいります。

スライドの32をご覧くださいと思います。4回目接種ですが、丸の2行目、7月22日から対象者が医療従事者などや高齢者施設等の従事者に拡大されましたので、円滑な接種実施に向けまして、市町村と協力して取り組んでまいります。

続いてスライド33をご覧くださいと思います。道の接種センターでは、7月22日の国の通知を受けまして、ノババックスワクチンは12歳以上の方の1回目また2回目接種に、それからモデルナワクチンは表の下の米印の1にありますけれども、医療従事者などや高齢者施設等の従事者の接種にも対応してまいります。

続いてスライド34をご覧くださいと思います。丸の一つ目です。道の接種センターでのノババックスワクチンですが、道民の皆様から引き続き高い関心をいただいております。8月14日(日)接種分も既に予約枠を満たしている状況です。次の8月21日(日)接種分ですが、来週、8月2日から予約を受け付ける予定です。丸の三つ目、道の接種センターで実施のモデルナワクチンの3回目と4回目の接種ですが、8月以降の日程について空きがありますので、引き続き広く呼びかけをしてまいります。

その他のスライドにつきましては本日の説明に関するデータ、あるいは情報でございますので後ほどご覧いただきたいと思います。資料1の説明は以上となります。

引き続き資料2をご覧くださいと思います。資料1「道内の感染状況等」について専門家、有識者の皆様のご意見を伺いますとともに、市町村や関係団体の方々にも事前にお知らせをしております。有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当である旨のご意見をいただいておりますが、その内容をご紹介いたしますと、1の1ですが、引き続き、病床使用率を注視し、医療のひっ迫が懸念される場合には、道民に感染への警戒レベルを上げるための注意喚起を行うことなどについて検討するとともに、自宅療養者が急増しているので症状悪化の際の医療への速やかなアクセスが確保されるよう、関係機関の一層の連携強化に努めてほしい。1の2ですが、感染防止行動には、換気の徹底が重要であることを呼びかけるとともに、集団感染が増えている高齢者施設等に対して、改めて感染防止対策の点検ポイントを示し、対策に漏れがないか確認することが必要。1の3ですが、新規感染者数が増加し、医療のひっ迫が懸念されるため、引き続き、道民へ感染対策の周知、徹底をお願いしたい。また、市町村や関係団体の方からは2の1ですが、感染急拡大を受け、診療検査医療機関の負荷が急速に高まっており、医療機関の負荷軽減とサポートに国や道のリーダーシップを期待するといったご意見が寄せられております。こうした面につきましては引き続き、今後の対策検討の参考事項としてまいります。

私からの説明は以上となります。

【副本部長（小玉副知事）】

次に札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から説明をお願いいたします。

【山口札幌市感染症担当部長】

札幌の山口でございます。札幌市の感染状況につきまして、資料3に基づきましてご説明いたします。それでは、最初のスライドをご覧ください。

札幌市内の新規感染者の1週間の合計についてであります。昨日、7月28日の時点では1万3,828人、人口10万人当たりでは704.9人と過去最高となりまして、先週の同じ曜日と比べまして2.2倍となって急増しているところでございます。

本日の新規感染者数も過去最多となった昨日の2,490人を上回る3,000人以上の人数が確認されており、全国的な感染拡大状況を踏まえ、今後の更なる感染拡大に警戒が必要な状況であります。

それでは次のスライドをご覧ください。札幌の入院患者数でございますけれども、黄色い棒グラフでございます。急増していることがわかるかと思いますが、今週に入りまして、1日当たり15人から20人と早いペースでの増加となっております。昨日の時点では260人となっております。先週の同じ曜日の165人と比べますと約1.6倍となっております。

一方、赤の折れ線グラフであります重症患者は0人と低い水準となっております。

また、施設での感染事例につきましては、クラスターの規模までには至っていないものの、報告数は増加しておりまして、その影響からも入院患者に占める高齢者の割合や、中等症患者の増加が見られていることから、今後の動向に引き続き警戒が必要な状況であります。

それでは最後のスライドをご覧ください。これは検査件数のスライドであります。直近の1週間では、2万2,689件の検査を行っておりまして、これは1日平均にいたしますと、約3,200件の検査となっております。陽性率は、赤の折れ線グラフでございますが、昨日の時点で60.9%と高い数値となっております。

全国的に感染が急増する中、夏休みに入りまして、旅行や普段会わない方との会食など人と接触する機会が増えてきておりますが、感染拡大を抑えるためにはワクチン接種の促進や場面に応じた基本的な感染対策の徹底、そして少しでも体調が悪い場合には外出や移動を控えるといった行動が重要と考えてございます。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に各部、振興局から順次発言をお願いいたします。まず経済部長お願いします。

【中島経済部長】

経済部です。資料4をご覧ください。「北海道認証店応援クーポン」についてご報告させていただきます。感染防止対策を図りながら、道内の外食需要の喚起を図るプレミアム付き食事券の販売、利用を、8月1日、来週の月曜日から開始いたします。道民の皆様方に向けましては、クーポンの利用促進、飲食店の方々に向けましては、認証取得と事業参加につきまして振興局をはじめ、引き続き周知をお願いしたいと思います。

内容につきましては資料に記載のとおりでございますが、今後、緊急事態宣言措置や、まん延防止等重点措置の適用等の行動制限等がかかった際には、クーポンの販売、利用を一時制限する場合もあるので、ご承知おきいただきたいと思います。

なお、有識者の皆様方にご意見を聴取したところでありますが、ご回答いただきました皆様方からは概ねご理解を示していただいたところでございますが、道といたしましては利用者、事業者双方の感染対策の徹底を呼びかけながら、適切に事業を実施してまいりたいと考えております。以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に渡島総合振興局長をお願いします。

【田中渡島総合振興局長】

渡島です。資料5により説明いたします。まず、函館市を含みます渡島管内の感染状況ですが、全国、全道の傾向と同様に、7月初旬から新規感染者数が増加しております。

特に7月の3連休明けから急激に増加しており、一昨日27日には、管内で471人と過去最高の新規感染者数を記録しております。

また、直近、7月の年代別の傾向を見ますと、10代以下の感染者の割合が全道平均と比較しても高い傾向となっております。

今後、夏休みとお盆に伴います旅行や帰省、各地での祭りやイベントの開催に伴います人の流れの増加によりまして、さらなる感染拡大が懸念されるところでありまして、感染防止行動への意識を1段階引き上げていく必要があると考えております。

こうした中、これまで感染が広がる若年層に対し、いわゆる「3つの行動」の実践と合わせ、3回目のワクチン接種を促進するため、新聞広告の掲載や振興局の若手職員が直接呼びかけるラジオCMを作成したほか、地域でのイベントの開催に当たりましては、関係市町や主催者等の関係団体に対し、感染防止対策の徹底やイベント開催時における留意事項について、個別に周知を行うなど、管内における感染拡大の防止に向けた取組を進めてきたところでございます。

次にこれから本格的な観光シーズンである夏場を迎えまして、赤い囲みの部分でございますが、感染拡大防止対策の取組の強化といたしまして、まず市、町と連携した取組として、住民への感染防止対策の徹底についての周知・啓発及びイベント主催者への感染対策の徹底に係る呼びかけなどを引き続き行うとともに、主に観光客等を対象とした感染拡大防止行動の徹底を呼びかける新たな振興局独自のリーフレットを作成し、管内の主要なホテルや旅館、道の駅などに個別に提供し、掲示等をお願いしているところでございます。

特に函館市につきましては、多くの観光客が訪れるなど、潜在的に感染リスクが高く、重点的に対策を講じていく必要がありますことから、引き続き、地元ラジオ局「FMいるか」やケーブルテレビ局のご協力をいただき、函館市と振興局との共同メッセージを繰り返し発信しているところでございます。

また、若年層への感染が拡大していることから教育局と連携し、夏休みに入る前に管内の各学校に対し、児童生徒、教員などへの感染防止対策の徹底について周知を依頼するとともに、夏休み期間中における若者のワクチン3回目接種を加速させるため、学生向けワクチンポータルサイトを紹介するなど、改めて高等教育機関に対し協力をお願いしております。

併せて社会福祉施設等に対し、高齢者や基礎疾患のある方といった重症化リスクの高い方だけではなく、そうした方々と接する方、双方における感染防止行動の徹底についても周知・啓発を行ったところでございます。

次に保健所の体制強化ですが、感染の急拡大を踏まえ、万が一にも保健所機能が滞ることのないよう、一時休止をしておりました保健所への職員応援の再開、人員の適宜増員など、体制強化を図っているところでありまして、また、道南における宿泊療養施設については、感染状況等を踏まえて一時的に1棟体制となっておりましたが、観光客などの感染拡大を受け、関係機関のご協力のもと予定を早めまして、本日から2棟体制とするなど、

必要な療養体制の確保に取り組んでいるところでございます。

以上が渡島管内の取組となりますが、引き続き各市町や関係機関などと協力し、地域一体となって、これまで以上に管内の感染防止対策に取り組んでまいります。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

この他、各部、振興局からご発言ございませんか。なければ、本部長からの指示として私から説明します。

本日の新規感染者数は6,594人、3日連続で過去最多を更新し、これまでにない感染状況となっております。全道の病床使用率は24.2%と増加傾向となっており、札幌市など地域によっては30%を超える状況となっております。国の専門家からは、全国的には過去最多を更新していくことも予測され、医療提供体制への影響も含め、最大限の警戒感を持って注視していく必要があると指摘されております。

こうした中、今後の感染拡大を見据え、先日、国に対し行動制限の考え方の明確化や、感染症法上の取り扱い、保健・医療提供体制の確保などについて、緊急要請を行い、また、昨日は、全国知事会議におきまして、道の要請を盛り込んだ緊急提言を取りまとめ、47都道府県が連携して国に対応を求めることとなりました。今後とも、全国知事会と連携して、国の考え方が速やかに示されるよう強く求めてまいります。

これまで道では、感染拡大に対応した保健・医療提供体制の確保について、再確認を行ってまいりましたが、これまでにない感染状況になる中、検査や外来、自宅療養、病床確保、それぞれの段階で対応力をもう一段強化する必要があります。そのためにはまず検査や発熱外来を確保することが重要であります。検査や発熱外来は、医療へのアクセスの入り口であり、感染者増加の影響を直接に受けます。感染が疑われる場合には、道の健康相談センターやかかりつけ医などに連絡し、対応を相談していただきたいと思っております。

次に、感染の拡大に伴う濃厚接触者の増加により、社会機能の維持が懸念される状況となっております。このため、国の見直しに対応し、濃厚接触者の待機期間を短縮いたしました。次に療養体制に関し、自宅で療養される方に向けた自宅療養セットの配送体制の強化を進めます。また、病床については、8月1日からフェーズを2に引き上げ、即時に対応できる病床を312床増床いたします。

各本部長、地方本部長は、保健・医療提供体制の強化に向けたこうした取組について必要な調整を行い、速やかに周知するよう指示をいたします。

また、医療への負荷に直結する重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方を感染から守っていくためには、そうした方々、また、そうした方々と会う方々、その双方に基本的な感染防止行動を実践していただくことが重要となります。このことを積極的に呼びかけるとともに、誰もが感染する可能性があることを念頭に置き、解熱剤や必要な物資をあらかじめ自宅に用意しておくことを道民の皆様をお願いしてください。

感染拡大が進む中、ワクチン接種の促進がより一層重要となります。対象者が拡大された4回目接種、若年層を中心とする3回目接種、いずれも道のワクチン接種センターの活用を図りながら、市町村の支援に努めてください。

また、ノババックスワクチンの接種につきましては、札幌市で8月から開始することとなりました。引き続き、より多くの市町村で受けられるように調整を進めるよう指示をいたします。

これからお盆休みなど、夏休みシーズンが本格化いたします。帰省などで人の動きが活発となり、感染リスクが高まる時期となります。こうした時期に向けた対応について、速やかに検討するよう指示をいたします。全国的に感染が拡大する中、本日、政府対策本部におきまして、感染拡大に対応する都道府県への支援として、BA.5対策強化宣言や、国のリエゾン職員派遣などについて決定がされました。この仕組みの詳細な要件や内容を確認するとともに、他県の動向などについて情報収集するよう指示をいたします。

最後に、8月1日から、第三者認証店で利用可能なプレミアム付き食事券「北海道認証店応援クーポン」を発売いたします。感染対策を徹底した上でご利用いただくよう利用者、事業者の双方へ周知するよう取り組んでください。本部長指示事項は以上であります。本部員は必要な対応をお願いいたします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第119回本部会議を終了いたします。

(了)